

会計期間と特別会計期間

三井金属ユアソフト株式会社



SAP Certified
in Run SAP Implementation



1. 会計期間 ～SAPヘルプポータルより～

1. 会計期間とは

- カレンダー月とは異なり、会計年度の初めの月を会計期間1とし、最終月を12として管理します。

会計期間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
会社A(月) 会計年度4-3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
会社B(月) 会計年度1-12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

2. 使用方法

1. 会計伝票入力時
会社の会計年度バリエーションと伝票の転記日付により自動的に計算されるため、入力の必要はありません。
2. レポート作成時
会計年度・会計期間を使用し、レポートを表示させることが可能です。
日付より簡単に入力できるため、レポートでの抽出条件での使用が主となります。

2. 特別会計期間 ～SAPヘルプポータルより～

1. 特別会計期間とは

- 決算処理のために再分割した特別な会計期間。

2. 使用方法

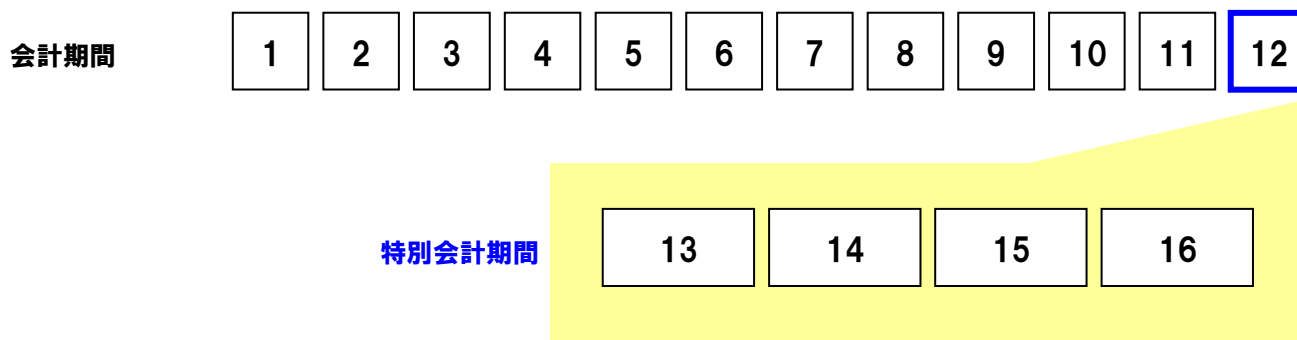
会計年度の定義内容とは関係なく、特別会計期間を使用することもできます。

特別会計期間では、年次処理期間がさらに分割されます。

その結果、最後の会計期間が単に複数の決算期間に分割されます。

これにより、複数の補足財務諸表を登録することができます。

特別会計期間は4つまで定義することができます。



3. 使用上の注意

1. 転記日付は最後の定期会計期間内にある必要があります。(例: 4-3月決算会社は3月日付)
2. 特別会計期間は自動的に決定されないため、伝票ヘッダの「期間」に入力する必要があります。

3. 特別会計期間 ～RMが推奨する使用方法～

1. 年度末決算での調整・修正仕訳の入力

SAP ERPでは『月次決算』、『月次の積み上げが決算』という考え方があります。

そのような考え方の上に、特別会計期間があります。

そのため特別会計期間は年度末決算で使用するという発想のもと、転記日付も期末月の日付でなければいけません。

使用方法は、既存システムの決算仕訳管理と同じようではありますが、下記の理由から半期決算での使用は保障されていません。

特別会計期間を決算処理で使用する場合は、「年度末決算時のみ」としてください。

<理由>

SAP ERP標準レポートの貸借対照表/損益計算書上では下記の理由から使用できない。

- B/Sは「貸借対照表タイプ」をどんなタイプにしても会計期間1からの累積値で出力される為、From-toを同じ会計期間にしても指定した会計期間の値だけを表示することはできません。

<使用方法例:B/S,P/L>

年度末決算時、通常レポート期間と特別会計期間を含む指定が可能で出力できる。

- 通常期間 ⇒ 1-12 (特別会計期間の値を含まないデータ)
 - 特別会計期間含 ⇒ x-16 (特別会計期間の値を含むデータ)
- 範囲指定で比較する事が可能。

3. 特別会計期間 ～RMが推奨する使用方法～

2. 組織変更時の残高移行

決算処理が終了後に、翌年度の新組織の期首データを作成するために、特別会計期間を使って、新しい組織への振替伝票を起票するときに使用します。

使用方法是、既存システムの決算仕訳管理と同じようではありますが、下記の理由から半期決算での使用は保障されていません。

特別会計期間を決算処理で使用する場合は、「年度末決算時のみ」としてください。

<理由>

4月1日日付で修正仕訳を入れても構いませんが、新年度・新組織で発生した仕訳なのか？

残高移行で発生した仕訳なのか？を判断する事がリアルタイムで仕訳結果が反映される為、困難になります。

このような問題を解決する為に、組織変更に伴う仕訳を特別会計期間に発生する仕訳とする事で解決できます。

<使用方法例：B/S,P/L>

年度末決算時、レポート期間と比較期間をうまく利用し、1-12（特別会計期間の値を含まないデータ）と1-16（特別会計期間の値を含むデータ）の範囲指定で比較できます。

- | | |
|-------------|---------------------------|
| ➤ 年度末を指定 | ⇒ 組織変更前の年度末残高 |
| ➤ 特別会計期間も指定 | ⇒ 組織変更後の残高（新年度での開始残高） |
| ➤ 新年度を指定 | ⇒ 残高繰越処理を実行後、新組織体制でのレポート。 |

- 当社の許諾なく、このプレゼンテーションの無断転用、複写、転送を行うことを禁じます。記載の情報はお断りなく変更されることがあります。
- REALMODEL、リアルモデルその他は、三井金属鉱業株式会社の登録商標または商標です。
- SAP 及び SAPロゴ、本文中に記載のSAP製品／サービス名は、すべてドイツ及びその他の国におけるSAP AGの商標または登録商標です。
- その他、各製品名は各社の商標または登録商標です。
- Microsoft, WINDOWS, NT, EXCEL, Word 及び SQL-Server は、Microsoft Corporationの登録商標です。
- HTML, DHTML, XML, XHTML は W3C®, World Wide Web Consortium, Laboratory for Computer Science NE43-358, Massachusetts Institute of Technology, 545 Technology Square, Cambridge, MA 02139の商標または登録商標です。